

日常診療での 薬の選び方・使い方 日頃の疑問に答えます

序 徳田安春 3

第1章 呼吸器系

1. COPD の薬の使い方を教えてください 山雄 さやか, 堀之内 秀仁 12
はじめに 1. COPD 急性増悪 2. COPD の重症度と治療 Step Up Lecture : 1) TORCH, 2) UPLIFT おわりに
2. 喘息の薬の使い方を教えてください 山雄 さやか, 堀之内 秀仁 17
はじめに 1. 気管支喘息発作の治療（救急外来編） 2. 気管支喘息発作の治療（入院編） 3. 気管支喘息の診断と治療 Step Up Lecture : ゾレア[®] おわりに
3. 気管支喘息の患者さんへの処方で注意することは何ですか？ 山雄 さやか, 堀之内 秀仁 23
はじめに 1. アスピリン喘息 2. β遮断薬 Step Up Lecture : 妊娠合併喘息 おわりに
4. 慢性咳嗽の鑑別と咳止めの使い方を教えてください。
医師によってまちまちで難しいです 山雄 さやか, 堀之内 秀仁 28
はじめに 1. 慢性咳嗽の鑑別診断の進め方 2. 慢性咳嗽の原因とその特徴 3. 中枢性鎮咳薬はいつ使う？ Step Up Lecture : 百日咳 おわりに

第2章 循環器系

1. Ca拮抗薬, ACE阻害薬, ARBの使い分けを教えてください 仲里信彦 35
はじめに 1. Ca拮抗薬の分類と使い分け 2. ACE阻害薬とARBの使い分け おわりに
2. 静注で使用する降圧薬の使い分けを教えてください 北川 泉, 梶波康二 40
はじめに 1. 代表的疾患における降圧目標 2. 各種薬剤の特徴 おわりに

3. 抗不整脈薬の使い方を教えてください	松下達彦	46
はじめに 1. バイタルの確認 2. 病歴聴取と心エコー 3. 薬物による除細動 Step Up Lecture : アミオダロンとリドカイン使用時の注意点 おわりに		
4. 静注で使用するカテコラミンの使い分けを教えてください	若竹春明, 藤谷茂樹	51
はじめに 1. 各受容体の生理学 2. 各薬剤の特徴, 使用方法 3. 起こりうる合併症 4. 實際の使用方法 おわりに		
5. 心不全に対するフロセミドとカルペリチドの使い方を教えてください	谷川徹也	58
はじめに 1. 心不全の病態生理 2. フロセミドを使うときの考え方 3. カルペリチドを使うときの考え方 まとめ		
6. 抗凝固薬と抗血小板薬の中止と再開のタイミングを教えてください	田所 浩	63
はじめに 1. 抗凝固薬・抗血小板薬の種類（経口薬のみ） 2. 抗凝固薬・抗血小板薬の用量調整～どうモニタリングするか？ 3. 出血？ 梗塞？ それが問題だ～推奨される休薬期間 おわりに		

第3章 消化器系

1. 胃薬 (H_2 受容体拮抗薬と PPI 以外) はどこまで evidence があるのでしょうか	蛭子洋介	69
はじめに 胃薬の evidence Step Up Lecture : 意外と見落としやすい胃薬の作用 おわりに		
2. H_2 受容体拮抗薬と PPI の使い分けを教えてください	蛭子洋介	73
はじめに 1. 潰瘍の治療 2. NSAIDs による潰瘍形成の一次予防 3. 胃食道逆流症の治療 Step Up Lecture : 現時点でのピロリ菌除菌対象の考え方 おわりに～副作用		
3. 下剤の使い分けを教えてください	山藤 栄一郎	79
はじめに 1. 便秘に薬（特に腸管刺激性薬剤）を使うときに考えること 2. 下剤の使い分け おわりに		
4. 制吐剤や整腸剤の使い方を教えてください（胃腸炎に対して）	佐藤暁幸	83
はじめに 1. 制吐剤を使うときに考えること 2. 整腸剤を使うときに考えること 3. その他～漢方薬の使用 おわりに～予防の重要性		
5. 慢性ウイルス性肝炎の治療薬について、専門家の意見を教えてください	大路 剛	87
はじめに 1. C 型肝炎の治療薬 2. B 型肝炎の治療薬 コラム : 免疫抑制と B 型肝炎の再活性化 (→ p.91)		

第4章 腎・内分泌・代謝系

1. 腎不全の患者さんに対する投与量の注意点や禁忌を教えてください 長田善彦 93
はじめに 1. 慢性腎臓病（CKD）・急性腎障害（AKI）の有無をしっかり認識する 2. 薬剤自体の腎毒性および腎機能障害時に副作用の出る薬を把握する 3. 腎機能障害のあるときの薬の投与量および禁忌を知る
コラム：腎臓病患者の下剤の注意点（→ p.98）
2. 脂質異常症治療薬の使い分けを教えてください 本村和久 99
Q1 脂質異常症治療薬とは？ どんなものがあるの？ Q2 誰に薬が必要なの？ リスク評価はどうするの？ Q3 脂質異常症治療薬に効果の差はあるの？ Q4 スタチンの有用性って？ Q5 どのスタチンがよいの？ Q6 スタチンが使えないときは？ よくある？ ケースにもどって おわりに
3. インスリンの使い方を教えてください 内藤 祥 105
はじめに 1. インスリンの分類と種類を知ろう 2. 製剤 5 種類と注入器 3 種類を実際に掛け合わせてみよう 3. インスリンの適応を知ろう 4. インスリンを始めてみよう 5. インスリン調整の基本的な方法を身につけよう 6. 自宅で使えるインスリンを考える 7. 単剤から混合製剤への変換は以下の①～⑧の手順で完全に機械的に行うことができる Step Up Lecture：持効型インスリン（ランタス[®]/レペミル[®]）の使い方
4. 経口血糖降下薬（OHA）の使い方を教えてください 内藤 祥 112
はじめに 1. OHA はたった 5 種類 2. OHA をどのタイミングで開始するか 3. 薬剤の導入選択は、肥満の有無と HOMA-R の値でおおまかに決められる（インスリン抵抗性の有無を評価） 4. OHA 併用の組合せ 5. OHA の追加併用の考え方 6. HbA1c の目標値は？ Step Up Lecture：BOT 治療法 おわりに

5. 骨粗鬆症治療薬の適応と使い分けを教えてください 金城光代 119
はじめに Q1 骨粗鬆症性骨折を起こすリスクが高いのはどんな患者さん？ Q2 骨密度はいつ測る？ Q3 どの部位を検査するのがいい？ Q4 骨密度をどのように読む？ Q5 骨粗鬆症薬の使い分けはどうするの？ Q6 いつまでビスホスホネートを飲まなくてはいけないの？ Q7 ビスホスホネートの副作用でよく聞く、顎骨壊死について教えてください おわりに

第5章 血液・腫瘍系

1. 外来化学療法について教えてください 須田理香, 堀之内 秀仁 127
はじめに 1. 外来化学療法の適応 2. 外来化学療法の実際の流れ 3. 抗がん剤投与当日の副作用 4. 帰宅後に起こりうる副作用 Step Up Lecture：CISCA study おわりに
2. 抗がん剤の作用機序と、代表的な副作用について教えてください 須田理香, 堀之内 秀仁 131
はじめに 1. アルキル化剤 2. プラチナ製剤 3. 代謝拮抗剤 4. 微小管阻害剤 5. トポイソメラーゼ阻害剤 6. 抗腫瘍性抗生物質 おわりに

3. 抗がん剤の吐き気止めの使い方について具体的に教えてください	須田理香, 堀之内 秀仁	136
はじめに 1. 時間による分類 2. 嘔気・嘔吐の機序による分類 3. リスクグループによる分類 4. 発症時期に関連した対応 Step Up Lecture : アプレピタント : ニューロキニン-1 (NK1) 受容体拮抗剤 おわりに		
4. 疼痛コントロールの薬剤について具体的に教えてください	須田理香, 堀之内 秀仁	143
はじめに 1. 痛みの評価 2. WHO 方式がん疼痛治療法の5原則 3. レスキュー 4. WHO 3段階除痛ラダー 5. オピオイドの副作用とその対策 Step Up Lecture : オピオイドローテーション おわりに		
5. 血液製剤の適応, 注意すべき点, 合併症を起こしたときの対応は?	須田理香, 堀之内 秀仁	150
はじめに 1. 赤血球輸血 2. 血小板輸血 3. 輸血の副作用 Step Up Lecture : 輸血関連急性肺障害 TRALI おわりに		
6. 分子標的薬の種類と使用上の注意について教えてください	須田理香, 堀之内 秀仁	155
はじめに 1. 分子標的薬とは 2. 分子標的薬の名前からみる分類 3. 代表的な分子標的薬とその副作用 Step Up Lecture おわりに		

第6章 皮膚疾患・骨関節疾患・リウマチ・ステロイド系

1. 軟膏（特にステロイド）の使い分けが知りたいです	関 玲子	159
はじめに 1. ステロイド外用剤について 2. ステロイド外用剤の適応について 3. 外用剤の選び方 4. ステロイド外用剤の実際の使用方法 5. 効果的な外用剤の使い方 おわりに コラム : ステロイド剤の混合について (→ p.161) コラム : ステロイド？ 抗菌薬？ どっち？ (→ p.162)		
2. 蕁麻疹に対する抗ヒスタミン薬の使い方とその種類を教えてください	関 玲子	164
はじめに 1. 蕁麻疹の治療ガイドライン 2. 蕁麻疹の機序・治療のみちすじ 3. 抗ヒスタミン薬の種類 4. 薬剤の使い分けと選択について 5. 抗ヒスタミン薬の選択についての考え方 ① 鎮静性から 6. 抗ヒスタミン薬の選択についての考え方 ② 構造式の違いから 7. 抗ヒスタミン薬の選択についての考え方 ③ 薬理効果が現れる時間の違いから 8. 抗ヒスタミン薬の使用上の注意いろいろ 9. H ₁ 受容体拮抗薬と H ₂ 受容体拮抗薬の併用について おわりに コラム : インペアード・パフォーマンスについて (→ p.167)		
3. NSAIDs の使い分け	吉田和樹, 岸本暢将	169
はじめに 1. 基礎知識 2. 使い分け Step Up Lecture : NSAIDs と心血管リスク おわりに コラム : 冷湿布と温湿布の使い分け (→ p.173)		
4. 鎮痛薬としてのオピオイドの適応と使い方を教えてください	関根龍一	175
はじめに 1. いつオピオイドの使用を検討するか？ 2. オピオイド開始時の注意点 3. ほかのオピオイド系薬剤は処方できるか？ 4. オピオイド処方に關する基礎的注意事項 5. 非がん性疼痛治療をどう考えるか？ おわりに		

5. ステロイド注射や経口薬は、どう使い分けるのか詳しく知りたいです

..... 宇都宮 雅子, 小林達雄, 岸本暢将 180

はじめに 1. ステロイドの種類とその使い分け 2. ステロイドの投与法・減量方法など 3. ステロイドの副作用とその予防 4. こんなときどうする？ ステロイドカバーについて おわりに

6. リウマチ治療薬の使用上の注意点を教えてください

..... 山本 万希子, 岸本暢将 186

はじめに 1. 患者について知る 2. 経口 DMARDs を使うときに考えること 3. 生物学的製剤を使うときに考えること Step Up Lecture : RA 患者が感染症や悪性腫瘍に罹患した場合 おわりに

第7章 精神疾患・神経疾患系

1. 高齢者に対する抗不安薬と睡眠薬の使い方を教えてください

(ベンゾジアゼピン系薬物を中心に) 西依 康, 親富祖 勝己 192

はじめに 1. 高齢者に対するベンゾジアゼピン系薬物 (BZP) 使用の基本 2. 抗不安薬の実際 3. 睡眠薬の実際 おわりに

2. SSRI の使い方 (3つのSSRIの使い分け) を教えてください

..... 西依 康, 親富祖 勝己 197

はじめに 1. SSRI まずは総論 2. 3つのSSRIの特徴 3. 疾患各論と症例解説 4. SSRI の知っておくべき有害事象 おわりに

3. ミダゾラムの使い分け、投与量、実際の希釈量を

教えてください 大久保 雅史 202

はじめに 症例1 : Q1 この症例はすぐに挿管すべき？ Q2 どうやって挿管する？ (鎮静の方法は？) 症例2 : Q1 整復手技に際し、まず何をしますか？ Q2 手技の際の鎮静時に必要なものは？ 症例3 : Q 静脈路がなくとも、痙攣を止める方法はありますか？ おわりに

4. 抗てんかん薬の使い分けを教えてください 本村和久 206

はじめに Q1 抗てんかん薬の適応は？ Q2 患者さんへの説明で注意することは？ Q3 抗てんかん薬の種類は？ Q4 第一選択薬は何？ Q5 どうフォローする？ 薬物血中濃度はいつ測る？ Q6 患者さんが妊娠可能な女性の場合、気をつけることは？

第8章 抗菌薬

1. 主な市中感染症で第一選択の抗菌薬として何を使うべきか

教えてください 本田 仁 211

はじめに 1. 市中感染症における抗菌薬選択までの論理的思考の原則 2. 症例を検討する 3. 抗菌薬選択に対する議論 おわりに

2. ERで抗菌薬を開始すべき感染症とその選択について

教えてください 柳 秀高 216

はじめに 1. 敗血症 2. 市中肺炎 3. 院内肺炎、医療施設関連肺炎 4. 腎盂腎炎 5. 髓膜脳炎 6. 壊死性筋膜炎 7. カテーテル関連血流感染 8. 胆管炎、胆囊炎

コラム : サンフォードを見て処方したら保険適応外と言われた (→ p.221)

3. 経口抗菌薬について臨床的に効果を得るためには、
どう使えばよいのか教えてください 谷口俊文 223
はじめに 1. 各抗菌薬の特徴を学ぶ 2. 経口抗菌薬を実際に臨床的効果のあるように使う おわりに
4. 静脈注射で使用している抗菌薬の内服への移行のしかたを
教えてください 中村 造, 松永直久 228
はじめに 1. まずは感染症診療の大原則を守る 2. この症例ではどうするか 3. 経口の抗菌薬
を使うときに考えること Step Up Lecture : 1. 経口のβラクタム剤について, 2. 経口のニューキ
ノロン系薬剤について
5. けがの患者さんへの予防的抗菌薬投与の基準について
教えてください 林 寛之 234
はじめに 1. そもそも抗菌薬をしておけば創感染が防げるか 2. 感染を起こしやすい創とはどんな創? おわりに
- 索引 239
- 執筆者一覧 245
- 編者プロフィール 246

Color Atlas

● 第6章-1 軟膏（特にステロイド）の使い分けが知りたいです→ p.162 参照



図1 手背

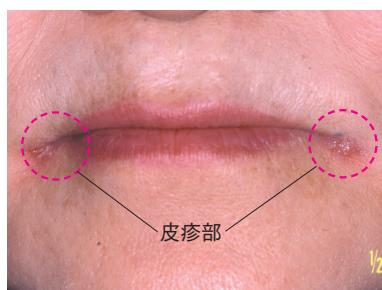


図2 口唇



図3 顕微鏡写真